

## 土谷総合病院腎疾患部・中島土谷クリニックより

残暑の候、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

### 【中島土谷クリニック 総合診療科併設のご案内】

8月5日より、中島土谷クリニックにおきまして総合診療科を併設することとなりました。  
日常的な症状、疾患や診療科を特定できない症状、健康相談などの様々な問題に柔軟に対応して参ります。

- 診察日 : 月曜日～金曜日
- 診察時間 : 午前9時～12時、午後2時～5時(月曜日のみ午後1時～5時)
- 担当医 : 土谷総合病院 腎疾患部 医師

※専門診療が必要と判断した際には、迅速に専門科にご紹介致します。

### 【末期腎臓病療法選択外来のご案内】

慢性腎臓病はタンパク尿、血尿から始まり、徐々に腎機能が低下し、最終的には腎機能が廃絶して透析治療や腎移植が必要となる疾患です。腎疾患外来では、慢性腎臓病の患者さんを医師、看護師、栄養士のチームが個別に指導・治療を行い、日常生活に沿った指導を3から6ヶ月毎に繰り返すことで腎疾患の進行を緩やかにすることを目指しています。残念ながら腎臓病が進行し透析治療が必要になった時、自分にあった治療(血液透析、腹膜透析、在宅血液透析、腎移植など)を選ぶことが重要になります。

外来の診察では十分な時間がない、緊張して理解できなかったという意見がありましたので、『末期腎臓病療法選択外来』を設けることといたしました。ここでは、医師、看護師、栄養士、患者さん、ご家族と共に、最も自分に適した治療方法は何かを話し合う場にしたいと考えています。

『末期腎臓病療法選択外来』をご希望の方は、外来担当医にご相談ください。地域医療連携室からも予約可能です。

土谷総合病院腎疾患部・中島土谷クリニックは慢性腎臓病のあらゆる病期の患者さんをサポートし、地域に貢献したいと考えています。今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。



		月	火	水	木	金
土谷総合病院 外来担当医	13:00～16:30	白木 伸明	森石 みさき	川西 秀樹	森石 みさき	新宅 究典



## 残暑お見舞い申し上げます

令和最初のつぶやきです。以前もこの話題つぶやいた気がしますが・・・去る、7月28日は「**世界肝炎デー**」でした。この日を含む月曜から日曜日は「**肝臓週間**」とされています。

当院では「肝臓週間」に、肝炎ウイルス検査受検勧奨と結果を認識していただく活動を行っています。具体的には、「あなたは肝炎ウイルスに感染していますか？」というキャッチフレーズのチラシを外来患者さんに配布しています。「わからない」方は、肝炎ウイルス検査受診あるいは主治医に確認して、「はい」の方は、定期受診継続あるいは開始して、と伝えているのです。これで判明したことがあります。私の外来患者、必ず初診時に肝炎ウイルスの結果を伝えているのに、「・・・？」と即答できない方が予想以上に多かったです！愕然としました。

先日、あのホリエモンが予防医療に力を注いでいることを知りました。そのきっかけは、上村直実先生（国立国際医療研究センター国府台病院）に出会って、「日本人の胃がんの99%はピロリ菌が原因で、除菌すればかなりの割合で胃がんを予防できる」と知ったことだそうです。上村直実先生といえば、同門の大先輩！勝手にホリエモンを身近に感じてしまいました。さらに、「人間ドックで内視鏡検査とピロリ菌検査を受けていたが、陰性だったせいか医師からの説明はなく、検査結果の紙をみても「なんだろな、このピロリ菌マイナスって、くらいの認識だった」と。（著書『健康の結論』より）

ここからの行動がすごいです。「健康に意識が高いと思っていた自分でもこの程度の認識だから、知らない人は大勢いる、『防げる死を防ぐ』方法があるのに知られていない。」と、ピロリ菌検査キャンペーンの開始、『ピロリ菌やばい』という著書まで出しています。

（『肝炎ウイルスやばい』という本も出してくれていたらどうだろう・・・）

「基本的に啓発活動は15%位までしか響かない、自分の取り組みもまだ一部の意識の高い人達が反応しているだけかもしれないが、ずっと続けていけば・・・」とつぶっています。

私もこの言葉を支えに地道に啓発活動を続けよう。

皆さんも一緒に。お願いします。



## 第55回日本肝臓学会総会に参加して-

看護師：谷本泰子

2019.5.30～31に東京で開催された学会総会で、肝炎医療コーディネーター（当院通称『肝疾患お助け隊』）の活動についてポスター発表をしました。

活発な意見交換が繰り広げられ、大変刺激的で参考になることばかりでした。全国でこんなにも、肝炎患者さんの為に一生懸命取り組んでいる仲間がいることに、感動するとともに、励まされ活力となりました。また、多くの学びを得た2日間でした。

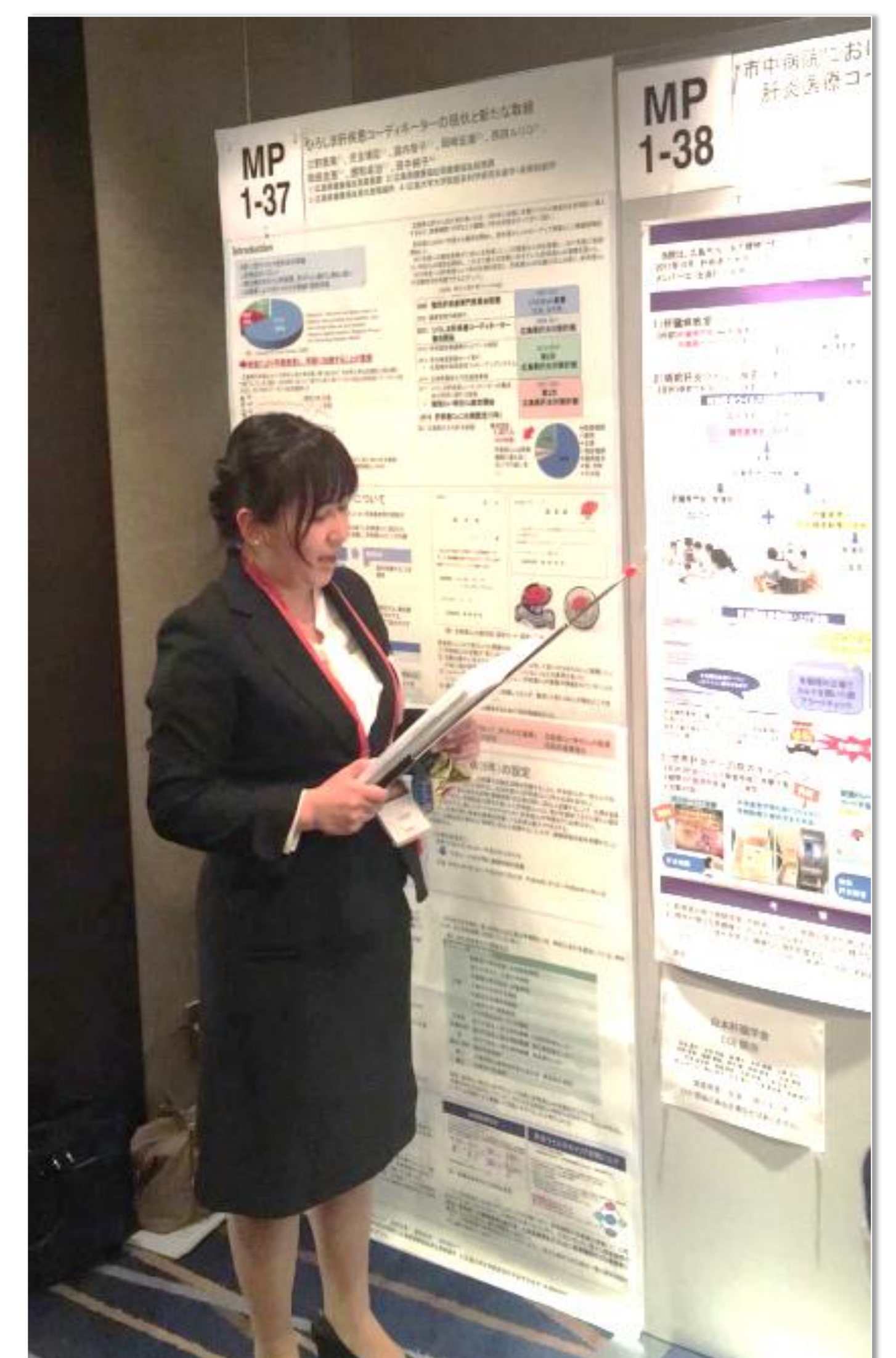
活動を開始して7年が経ちましたが、今回これまでの活動をまとめることにより、課題が明確になりました。これからさらに、多職種チームで一丸となって、取り組んでいきたいと思えます。

## 『肝疾患お助け隊』とは・・・

2011年10月に、肝臓専門医(荒滝医師)、薬剤師、管理栄養士、MSW、理学療法士といった多職種で結成され、肝疾患の患者・家族の支援を行っています。

具体的には、肝臓病教室の開催（1回/月）や術前の肝炎ウイルス検査対策活動（術前の肝炎ウイルス検査で発見されるすべての肝炎患者を適切な治療や定期検査に導き、肝がんの早期発見、早期治療を行う）、検査受検のキャンペーン活動などです。

（発表内容は、右ページをご覧ください）





はじめに

当院は、広島市内にある標榜19科、ベッド数394床の救急告知病院である。  
2011年10月、肝疾患の患者・家族の支援を目的としてチーム『肝疾患お助け隊』を結成した。  
メンバーは、全員肝炎医療コーディネーターであり、その活動を報告する。



活動内容と実績

1) 肝臓病教室 2011年より、1回/月開催

《内容》肝臓専門医 → 肝疾患の話 (30分)  
各職種が持ち回りで講師を担当 → 各分野の立場から、日常生活の注意事項・薬剤・検査・栄養・運動療法についての話 (30分)



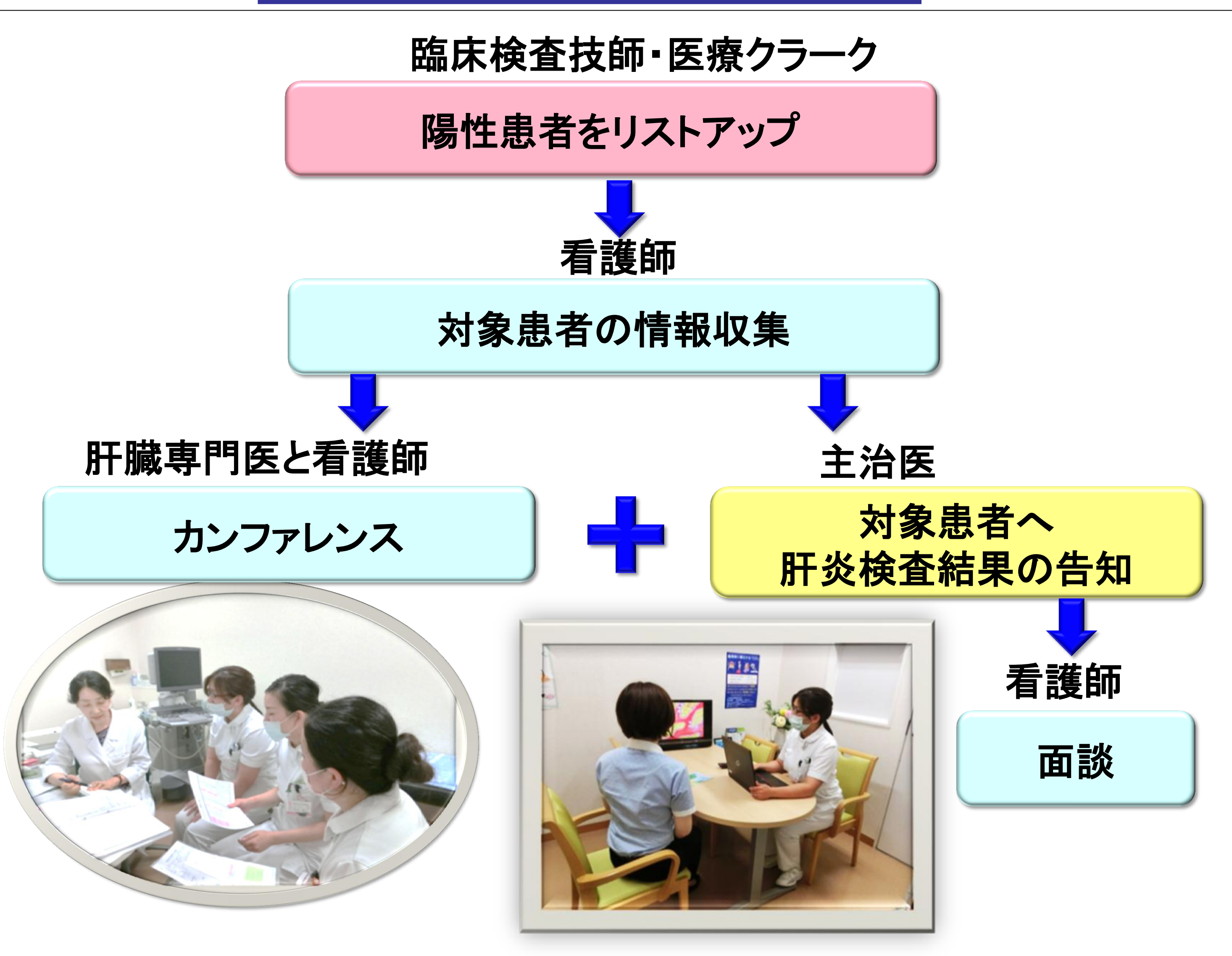
- 毎月10～15名程度が参加
- 2019年5月現在91回開催

2) 術前肝炎ウイルス検査対策

《目的》術前の肝炎ウイルス検査で発見されるすべての肝炎患者を適切な治療や定期検査に導き、肝がんの早期発見、早期治療を行う

術前肝炎ウイルス検査対策の活動

職種別の術前肝炎ウイルス検査対策の流れ



活動内容	担当職種
①肝炎ウイルス検査受検者(陰性・陽性と)の拾い上げ → 電子カルテの掲示板に主治医宛で検査結果の確認依頼	臨床検査技師
②肝炎ウイルス検査の陽性患者を毎日リストアップ → 外来看護師へ報告	医療クラーク
③入院患者に対して陽性患者のスクリーニングをかけ、陽性患者で、今までに介入していないか絞り込み、ピックアップ一覧へ登録 → 看護師へ報告	看護師
④陽性患者の情報収集(専用の情報収集用紙使用) カルテからの情報収集 病棟へ連絡し、情報収集	肝臓専門医
⑤情報収集をもとに、カンファレンス ・介入の要・不要 ・介入要の場合は面談の内容の確認 → 主治医へ報告	看護師
⑥対象患者へ肝炎検査結果を告知し、肝炎医療コーディネーターが介入する事を伝える	主治医
⑦家族同伴の面談を原則とし、病棟と日程調整	看護師
⑧面談・家族に受検勧奨	
⑨問診票・面談記録の記載・面談結果を専門医へ報告	

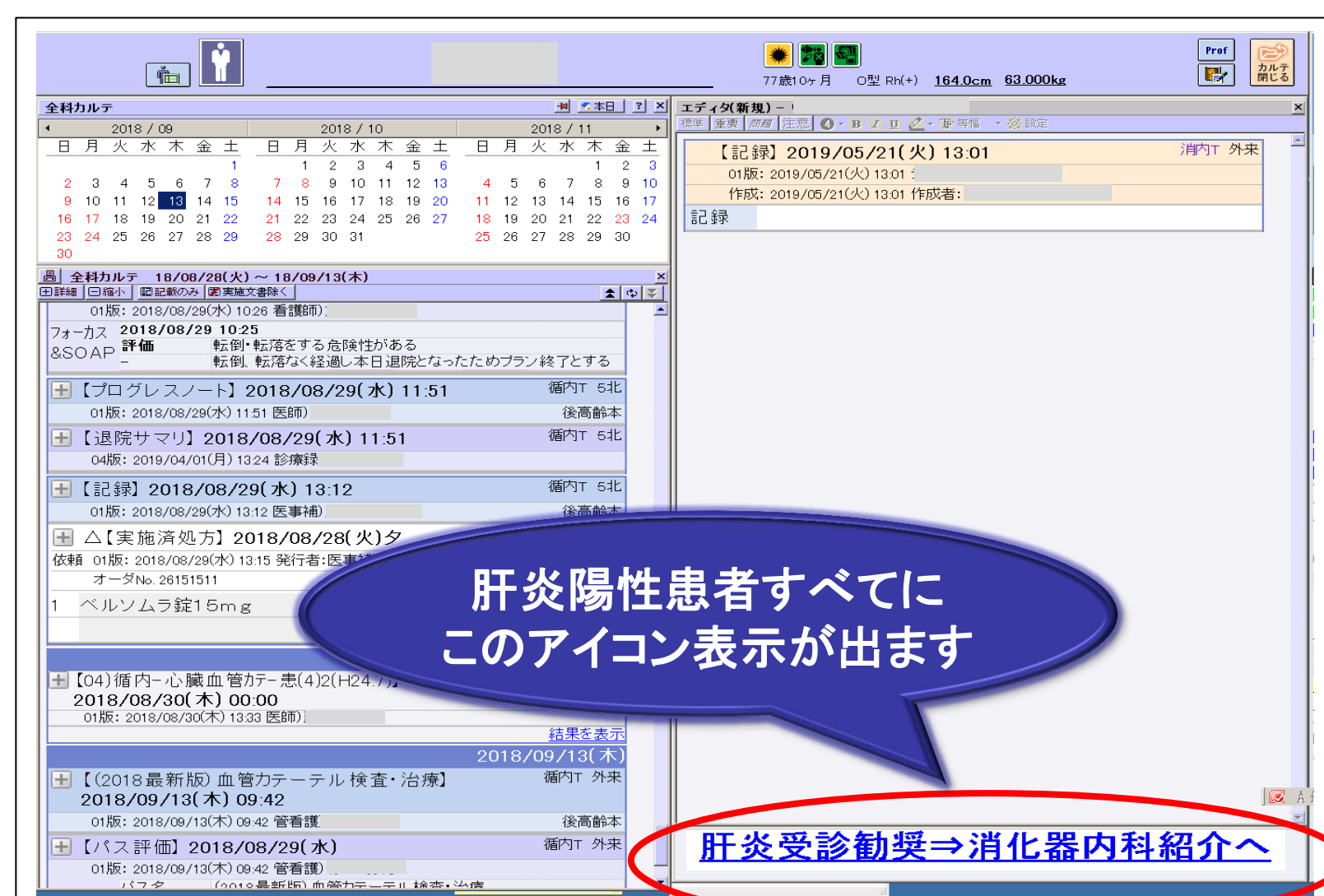
①～⑨の段階を経て、肝臓専門医の診察に至る



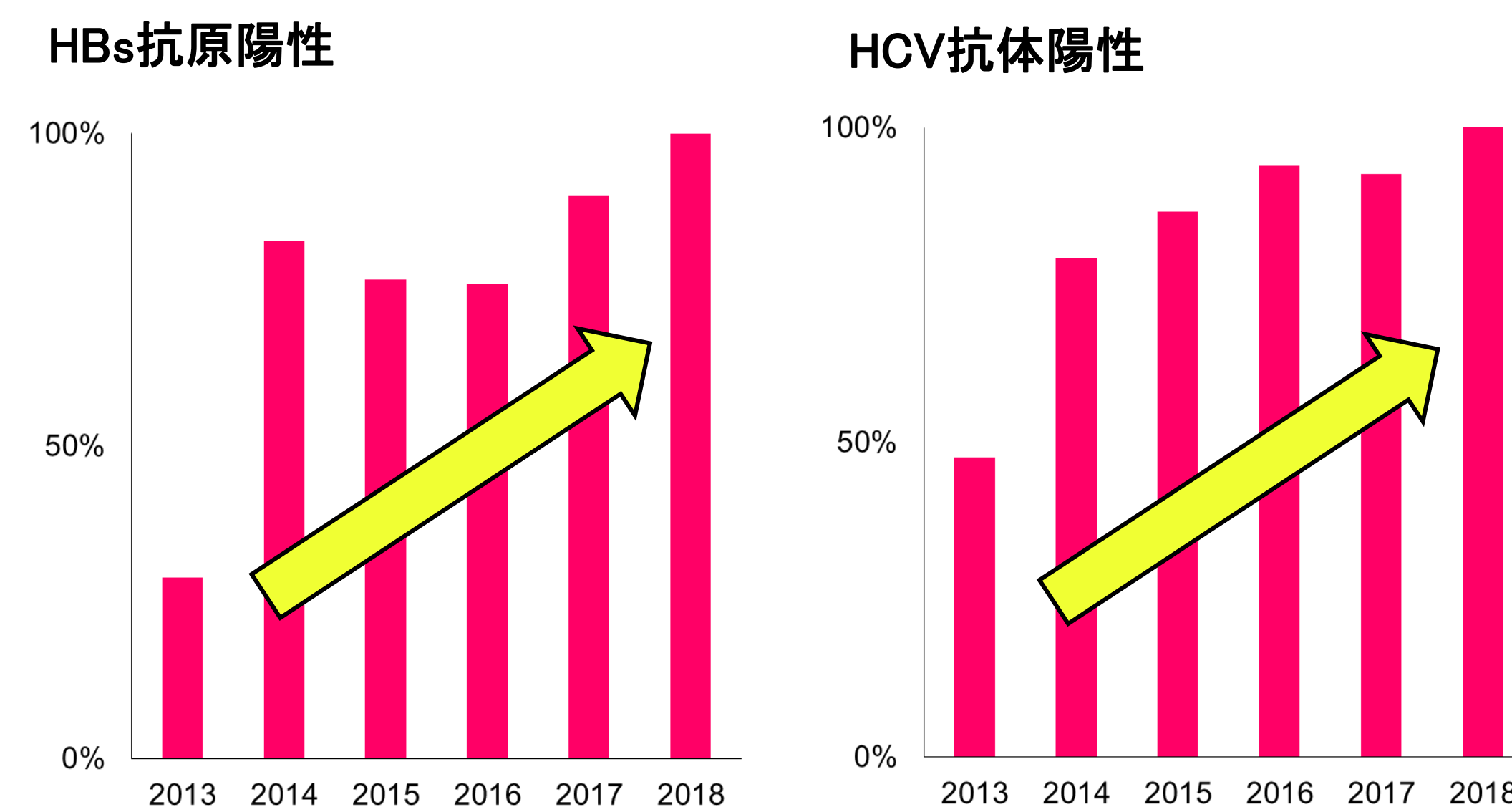
『家族には話せない』『死の宣告を受けたよう』『もう結婚は無理かな』

『疾患の話や療養上の話を聞いて安心した』『支えてもらって心強かった』

肝炎陽性患者拾い上げ活動



実態把握率 100% 達成



3) 世界肝炎デーの院内キャンペーン

《目的》肝炎ウイルス検査受検の啓蒙活動  
《期間》肝臓週間前後1～2週間  
《活動内容》

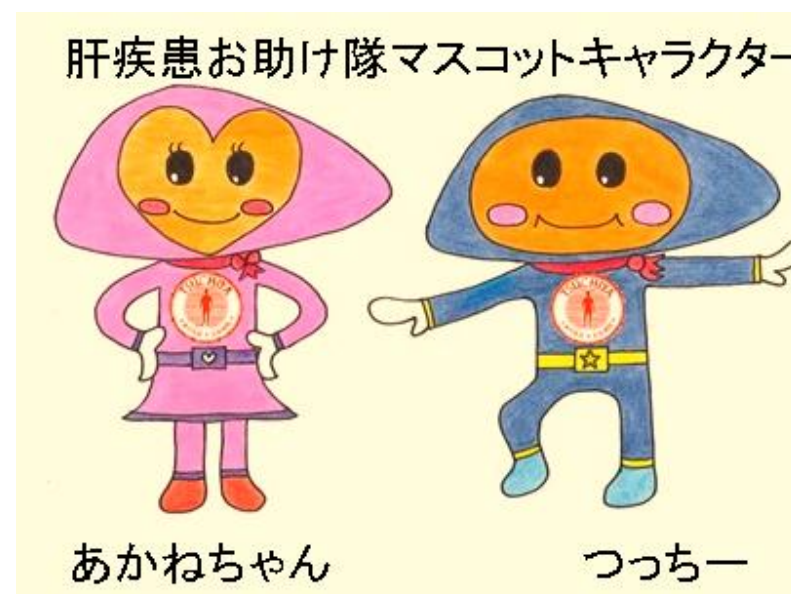
4) 多職種サポート

考察

1. 肝疾患お助け隊結成後7年経過し、徐々に周囲の協力が得られるようになった。
2. 視点が異なる多職種で、ディスカッションを行うことにより、様々なアイデアが生まれた。
3. 肝炎ウイルス陽性患者は、複雑な心境を吐露する。  
『家族には話せない。』などと負い目を感じる患者もいるが、それをチーム全体で支えていく中で、『安心した。』『心強かった。』という声を聴くと、やりがいを感じると共に、肝炎医療コーディネーターが重要な役割であると実感する。

結語

1. 多職種による院内での肝炎医療コーディネーター活動を報告した。
2. 今後も、さらに多くの職員が関われる様に、教育を含めた活動と職場環境にしていく必要がある。





疾患を持つ方とそのご家族、又は興味のある方ならどなたでも参加できます

教室名/時間	月日	内容	担当	お問い合わせ
慢性腎臓病の 食事教室 14:30~15:30	9/4	「献立」の立て方	医師/管理栄養士/看護師	腎疾患関連 統括師長 (渡部)
	10/2	水 「減塩」の工夫	医師/管理栄養士/看護師	
	11/6	「たんぱく(1)」の摂り方	医師/管理栄養士/看護師	
慢性腎臓病教室 10:30~11:30	8/20	リハビリと慢性腎臓病	医師/理学療法士/看護師	腎疾患関連 統括師長 (渡部)
	9/17	火 心血管疾患と慢性腎臓病	医師/薬剤師/看護師	
	10/15	透析と慢性腎臓病	医師/薬剤師/看護師	
心臓病教室 14:30~15:30	9/2	救急時の心肺蘇生について	看護師	心臓血管 センター
	10/7	月 心不全について	医師	
	11/11	のぞいてみよう 見える油と見えない油	管理栄養士	
糖尿病教室 14:00~15:00	8/23	糖尿病の合併症	医師	お薬窓口
	9/13	金 実践しよう！糖尿病の運動療法	理学療法士	
	9/27	糖尿病の治療	医師	
肝臓病教室 14:30~15:30	8/26	肝臓の検査	医師/検査技師	北外来
	9/30	月 肝臓-最近の話題-/肝疾患患者様の日常生活	医師/看護師	
	10/28	肝臓病の栄養について	医師/栄養士	

## 地域包括ケア病棟利用をお考えの方へ

### こんな時、ご相談ください (どなたからのご相談でもお聞きします)

- 急性期治療(手術や内科療法など)を終えられた患者さまで、もうしばらく経過観察が必要な方や在宅生活へ向けて、環境準備やリハビリが必要な方
- 家族が在宅介護できない期間の入院(冠婚葬祭や入院治療、介護疲れなど)
- 施設への入居待機中の方 (最長60日まで)

### 医療機関関係者の方へ

脳神経外科医・精神科医はおりませんので、ご留意ください。

連絡先：地域医療連携室 看護師(伊美・土田・楠本)

TEL：082-243-9191(代) FAX：082-243-9223